2005.5　Vol.5

CERA·PA セラ·パ

岐阜県現代陶芸美術館
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

〒507-0801 岐阜県多治見市東町4-2-5
tel.0572-28-3100　fax.0572-28-3101
http://www.cpm-gifu.jp/museum

次回開催

没後100年記念
フランスの至宝―エミール･ガレ展

アール・ヌーヴォー芸術を代表する工芸家エミール・ガレ（1846－1904）は 19 世紀後半､フランスのナンシーを拠点に、ガラス、陶器、家具という幅広い分野に創造力を発揮し、独創的な世界を切りひらきました。

文学や哲学、修辞学、音楽、植物学、鉱物学などに通じ当代一流の文化人とも交流を持っていたガレは、傑出した表現者、総合アートディレクター、また企業家として多方面でその才能を開花させます。

ガレの芸術はジャポニズムや象徴主義、自然主義、博物学の成果など、時代の趨勢と深く関わりあいながら展開し、独自の表現理論に幻想的なイメージを絡み合わせた特異な世界を確立しました。また普仏戦争敗北やドレフュス事件など、当時世論を沸かせた社会問題にも積極的に関わり自身の作品にも表現しています。

本展覧会は、エミール・ガレ没後 100 周年を記念し、ガレの全貌を解き明かそうというものです。総出品点数は 231 点におよぶ国内の選りすぐりの名品で構成され、その多くが日本初公開となります。北澤美術館ほか国内有数の美術館の逸品や、いままで公開されていなかったポーラ美術館のコレクション、さらにガレが手がけた家具作品を代表する「収穫」シリーズの食堂用家具セットが初公開されます。飾り棚とテーブル・椅子がセットとして揃って展示された機会は過去に例がありません。また知られざる一面として、ガレがデザインした陶器の数々を一堂にご覧いただけるのもみどころの一つとなるでしょう。ジャポニズムへの傾倒がみられる時期にも焦点をあて、浮世絵や北斎漫画からの影響も検証していきます。

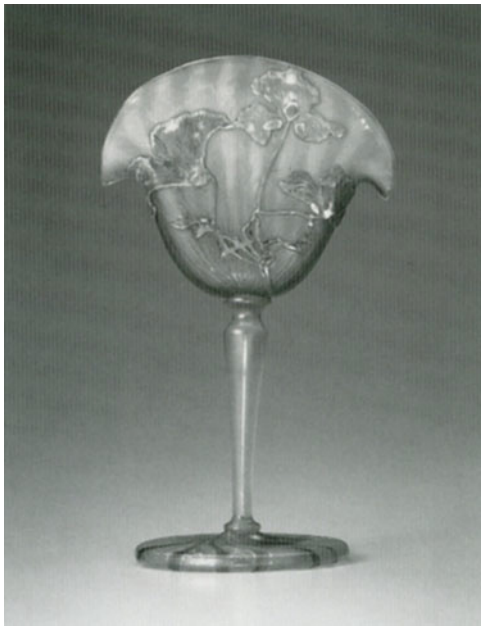
まさに愛知県で 2005 年日本国際博覧会が開催されているなか、本展覧会では 1900 年に開催されたパリ万国博覧会を中心とするガレの万博出品作なども多く展示いたします。没後 100 年展ならではの規模で、ガレが達成した広範な創造の世界と奥深い芸術への理解を深める絶好の機会となることでしょう。

〈学芸員 佐野素子〉

2005 年 6 月 18 日（土）～ 8 月 31 日（水）会期年中無休
開館時間　午前 10 時－午後 6 時（入館は午後 5 時 30 分まで）
会　　場　岐阜県現代陶芸美術館ギャラリーⅠ

■観 覧 料　一般 1,000 円　大学生 700 円　高校生以下無料
（前売り・団体 20 名以上　各 200 円引）
前売りはチケットぴあ、サークルK(岐阜県、愛知県、三重県、長野県内）、各プレイガイドにて
■主　　催　岐阜県現代陶芸美術館　NHK 岐阜放送局
NHK 中部ブレーンズ　　日本経済新聞社
■共　　催　中日新聞社
■後　　援　フランス大使館
■協　　力　財団法人北澤美術館　ベル・デ・ベル
■企画協力　アートプランニング レイ
■関連企画　〇講演会
日　時／平成 17 年 7 月 9 日（土）14：00 ～
場　所／岐阜県現代陶芸美術館プロジェクトルーム
「エミール・ガレ～創作の軌跡」 鈴木潔氏（美術史家）
〇ギャラリートーク
会期中、毎週日曜日の午後 1 時 30 分より、当館学芸員による展示案内を行います。

《木の実に蜻蛉図皿》1880年後半　岐阜県現代陶芸美術館蔵



《花器（おそらくヒナゲシ）》1900年　財団法人北澤美術館蔵

美濃アール･デコ　―精炻器の創製と復活―

2005年4月23日｜土｜－5月8日｜日｜

非常にモダン。懐かしいけれどなんとなくバタ臭い。

この焼物を初めて見たときの印象です。時代が大正から昭和に変わって間もない1928年､モダニズムやアール・デコなど当時の最新の時代感覚を映した焼物が美濃焼に誕生しました。創製企業の名前を付けて呼ばれた焼物はその後、精緻で上品な製品特性から精炻器（せいせっき ）と名付けられ、市場の高い評価を得て 1970 年頃まで美濃焼の主要生産品のひとつでした。しかし、市場動向に素早く対応し、生産技術の革新にも積極的な量産地「美濃焼」では、製陶技術や技法は伝承されにくく、生産の自動化に適合できない工芸的な精炻器も、その例外ではありませんでした。

2000 年にその生産が復活するまで、地元においても幻の焼物でした。

「自然の叡智」をテーマにし、21 世紀最初の万国博覧会が、愛知県で開催されています。大量生産・大量消費という今日の社会構造や生活様式に対して、検証と再考を促す一つの契機になるに違いありません。精炻器創製の背景にある、時代を先取りした環境問題への取り組みおよびブランド構築、人材養成について、その中心となり産地を先導した岐阜県陶磁器試験場(現セラミックス技術研究所)の業績から簡単に紹介します。

【資源保護 / 未利用資源の活用 / 省エネ】粗製濫造、薄利多売の美濃焼において大正時代中頃から、可塑性に富む優良な粘土資源の枯渇が問題となりました。資源保護の対策がとられるとともに、未使用粘土の活用研究が試験場などを中心に行われました。その結果、比較的低温（1160℃）で淡黄色に焼成でき、磁器のように各種装飾技法が利用できる精炻器素地が開発されました。同時に業界への普及と生産を軌道にのせるため、粘土の供給体制も整備されました。

【産業工芸 / 中間工場 / ブランド構築】安物産地の汚名払拭のため、工芸面から製品の質的向上も大きな課題でした。加藤一（後に人間国宝となる加藤土師萌 ）が瀬戸から招聘され、意匠改善や参考見本品の制作に取り組みました。最終目標は商品化であるとの考えから、商品化できそうな見本品を選び場内の中間工場（独立採算 ）において生産し、百貨店などで市場調査を兼ねた販売をおこないました。アール・デコ感覚の参考見本品の数々は、市場を意識して良質な量産品を目指した成果と思われます。陶磁技術の公開と加飾技法の指導は見識の高い企業に限定され、高品位のブランドとして大切に育てられました。

【人材養成】企業の技術者を中間工場で物作りに実際に従事させ、物作りの哲学と製陶技術を学ばせることで、速やかな技術移転の達成と粗製濫造からの脱却を目指しました。これらが一体となって初めて、高品位な美濃焼である精炻器は誕生したと考えます。

時代に即応した商品として精炻器の復活に取り組む契機は、生産の自動化により露呈した量産地「美濃焼」の製陶技術・技法の単調化に対する危機感からです。海外からの製品輸入が急増している厳しい経営環境のなかで、状況を打開する具体策の一つとして、さまざまな技法を総体化した美濃オリジナルの精炻器に着目し、復活に向けた研究開発を行って 30 年振りに脚光を浴びることになりました。生産が復活して間もない 2002 年、精炻器は県郷土工芸品の指定を受けました。

オリジナルの参考見本品がアール・デコの時代をいまに伝えるものならば、復活した精炻器は更に技術／技法／センスをみがき、新しい時代の物語を作ってほしいと願っています。

＜セラミックス技術研究所　鶴見栄三＞

会　　期　2005 年 4 月 23 日（土）～ 5 月 8 日（日）
会　　場　岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム
開館時間　午前 10 時～午後 6 時（入館は午後 5 時 30 分）
休 館 日　会期中無休

《松竹梅文ボンボン入れ》昭和初期　岐阜県セラミックス技術研究所蔵

《白化粧茶線草花文ボンボン入れ》1935年　岐阜県セラミックス技術研究所蔵

《飴釉イッチン葉文花瓶》1936年　岐阜県セラミックス技術研究所蔵

次回開催

European Noble Wares

ヨーロッパの名窯　―王侯・貴族の愛したうつわ―

2005 年 3 月 19 日［土］～ 10 月 16 日［日］

ヨーロッパにおいて王侯・貴族が愛した陶磁器は、当初より美術品・装飾品としての性格を色濃く帯びており、16、17 世紀のころ、食卓の取り皿として用いられていたのは主に銀器や錫と銅の合金の器でした。17、18 世紀以降、東洋の磁器へのあこがれと喫茶の流行が、陶磁器の製作の機運を一気に高めたとされ、やがてそれらは宮廷の食卓を華やかに彩ることになります。テーブルウェアをことごとく磁器でまかなうことは、王侯・貴族のこのうえないステータス・シンボルとなったのです。

こうしてヨーロッパ諸国の陶磁器は、王侯・貴族の庇護に始まる高級食器の伝統を、優れたクラフトマンシップを育みながら、その歴史に刻んできたのです。今日では市民の食卓がしばしばこうしたテーブルウェアで彩られるようになっていますが、ある種のティーウェア、ある種のテーブルウェアが、その精巧な技術と美しい意匠によって、やはりステータス・シンボルであることに変わりはありません。

ひるがえって我が国の食卓は、古くから個々に用いる銘々膳であり、その膳の形も身分によって厳格に区別されていました。明治になって西洋式の卓をともにする共卓の形式が導入されても、それは手狭な一般家庭にはすぐには入りませんでした。庶民の生活にテーブルが登場するのは明治中期に卓袱台が考案されてからですが、やがて明治 17 年厚生省の諮問により日本建築学会が「寝食分離」の生活スタイルを考案し、昭和 30 年設立の日本住宅公団が公団住宅の規格に DK（ダイニング　キッチン ）を導入して、ダイニングテーブルが登場することになります。食卓に配される食器もこうしたライフスタイルの変化とともに様変わりしてきました。今日の私たちの食卓は、和食器にも彩られてたいへんバラエティ豊かなものとなっています。ヨーロッパなどのブランド食器も、私たちの選択肢のひとつとなっていると言ってよいでしょう。

そのような理由から、本展覧会はアンティークの洋食器を紹介するものではなく、現在、日本法人あるいは日本総代理店をかまえ、日本で入手可能なブランドの代表的な現行のティーセットを中心にご紹介するものです。いずれのブランドも現行のものとはいえ、その長い歴史のなかで試され鍛えられてきた意匠と技術への誇りをうかがわせるものです。

ロイヤル コペンハーゲン《フローラダニカ》

ウェッジウッド《オクタゴナルティーセット》

アラビア《パラティッシ》

マイセン《ブルーオニオン》

ロイヤル クラウン ダービー《ジャパン》

ミントン《ハドンホール》

ロイヤルドルトン《センテニアルローズ》

リチャード ジノリ《イタリアンフルーツ》

会　　期　2005 年 3 月 19 日（土）―10 月 16 日（日）＊会期中無休
会　　場　岐阜県現代陶芸美術館　ギャラリーⅡ
開館時間　10：00―18：00（入館は 17：30 まで）
主　　催　岐阜県現代陶芸美術館

観 覧 料　一般 320 円（260 円）、大学生 210 円（160 円）、高校生以下無料
＊（ ）内は 20 名以上の団体料金
＊愛知万博及び花フェスタ 2005 ぎふのチケットをお持ちの方は団体料金でご入館いただけます。

ギャラリートーク　会期中、毎週日曜の 15：00 より、当館ボランティアスタッフによるギャラリートークを行います。

MEISSEN

華麗なるマイセン磁器　―シノワズリー、ロココからアール・ヌーヴォーまで―

2005 年 4 月 9 日［土］～ 6 月 5 日［日］

本展は、西洋美術をこよなく愛した伊東直子氏が半生をかけて収集したマイセン磁器の珠玉のコレクションを始めて公開するものです。伊東氏は公開を前提にコレクションしたことから、その内容は、食器のほか、彫像、室内オブジェ、装飾鏡やシャンデリアなど多様な種類が、シノワズリーやロココからアール・ヌーヴォーにいたるまで網羅されて、価値あるアンティーク・マイセンの全容を概観できます。伊東氏は残念ながら、公開を前に志半ばにして他界されましたが、ご遺族の特別のご厚意により、コレクションの公開が可能となりました。本展は、1710 年代のマイセン磁器誕生のベットガー炻器から 20 世紀初頭のアール・ヌーヴォーまで、113 セット 198 点の作品により、華麗なるマイセン磁器の世界を紹介します。

ザクセン選定侯のアウグスト強王は、1705 年錬金術師ヨハン・フリードリッヒ・ベットガーに磁器製作研究の任務を与えました。ヨーロッパでは、長い間東洋の磁器は「白い金」と呼ばれ、王侯・貴族の憧れの的であったのです。さらに自然科学者チルンハウスが、ベットガーにアドバイスを与え、1709 年、ふたりはついに白色磁器の製造に成功、1710 年にドイツ東部のマイセンにあるアルブレヒト城に、硬質磁器製作所が設立されました。中国や日本の磁器にあこがれた西洋が、ついに独自に生み出すことのできた最初の磁器でした。以来 1717 年には染付磁器の焼成に成功するなど、マイセン磁器は洗練を加えていきます。1733 年に強王が没すると、ロココ様式の磁器人形の製作が始まり、「マイセン人形」と呼ばれ人気を博しました。マイセンは、食器や人形のみならず、オブジェや家具にいたるまで、ロココ調を基にした華麗な色彩と豊かなフォルムを特徴に、時代による様式の展開を見せながら今日も製作が続けられています。今なお、西洋を代表する陶磁として、世界中で愛され、あこがれられる存在となっているのです。

＜学芸員　岩井美恵子＞

《色絵ロシアバレエ踊子像「蝶になったキアリーナ」》　1914－23年

《色絵花飾鳥プット像シャンデリア》　19世紀後半

《金地色絵花卉図ソリテール》　1760年代

《藍地金彩神話人物図蓋付アンフォラ》　19世紀末

《色絵楽奏猿群像「猿のオーケストラ」》　1766－18世紀末

《赤絵楽奏人物群像》　1924－34年

会　　期　2005 年 4 月 9 日（土）－6 月 9 日（日）＊会期中無休
会　　場　岐阜県現代陶芸美術館　ギャラリー I
開館時間　10：00－18：00（入館は 17：30 まで）
主　　催　岐阜県現代陶芸美術館 共催 中日新聞社 後援 ドイツ連邦共和国

観 覧 料　一般 800 円（700 円）、大学生 600 円（500 円）、高校生以下無料
＊（ ）内は 20 名以上の団体料金

関連企画　＜ミュージアムサロン＞
「生活の中に美を：アール・ヌーヴォーとその時代」
講　師：千足伸行氏（成城大学教授・西洋近代美術史）
日　時：5 月 14 日（土）14：00－16：00
会　場：セラミックパーク MINO　イベントホール
定　員：40 名　　4 月 11 日（月）より電話申込開始
参加費：無料
＜ギャラリートーク＞
会期中、毎週日曜日の 13:30 より、当館学芸員によるギャラリートークを行います。

教育普及活動報告

高校生以下の観覧料無料化に際して

本年度より、当館を始め岐阜県立の岐阜県美術館・岐阜県博物館の入館・観覧料が、すべての展覧会について、高校生以下は無料となりました。これまでも、所蔵品展示（常設展示 ）の観覧は無料でしたが、今回より、そうした制限をなくし、県内外を問わず高校生以下の子どもたちの観覧が完全に無料となったのです。

この無料化のねらいは以下の 3 つです。

①児童生徒が優れた文化芸術に直接触れ、親しむことにより豊かな心を育てる。
②完全学校週 5 日制による学校休業日等に、親子で文化芸術に親しむことができる機会を一層拡大する。
③文化芸術への理解者を子どものうちから育てる。

当館では、こうした、全国的にも 5 例目となる方針を生かす活動をどんどん展開していきたいと考えております。具体的な子どもの受け入れ態勢として、今年度は以下のような対応を考えています。

■「鑑賞カード」を製作し、配布する

当館所蔵の代表的な作品をカラー写真とわかりやすい解説で紹介します。仕様は A5 サイズで、一辺にファイリング用の穴をあけ、綴じて保管しやすいようにしてあります。16 年度は、現在開催中の「ヨーロッパの名窯―王侯・貴族の愛したうつわ―」にて展示中のアンティーク名窯の作品8枚(点)分を作成しました。今後、富本憲吉や荒川豊蔵の作品などを順次作成していく予定です。カードは展示会場に置き、無料配布します。

■「鑑賞用ワークシート」を作成し活用する

子どもたちが、楽しくわかりやすい作品鑑賞ができるようにと、陶芸作品の魅力に出会えるワークシートを作成します。内容は小学生中学年程度を想定しており、友達同士で、家族で、あるいは学校の授業で来館いただいた折に活用いただけるようにします。

■親子観賞者へのプレゼント

夏休みや休日など、家族でぜひ当館を含めた、セラミックパーク MINO へお出かけいただきたいとの願いから、夏休み期間中の家族来館者へは一組にもれなく、当館のオリジナルポストカードをセットでプレゼントいたします。

■「第7回国際陶磁器展美濃」の入場も高校生以下は無料

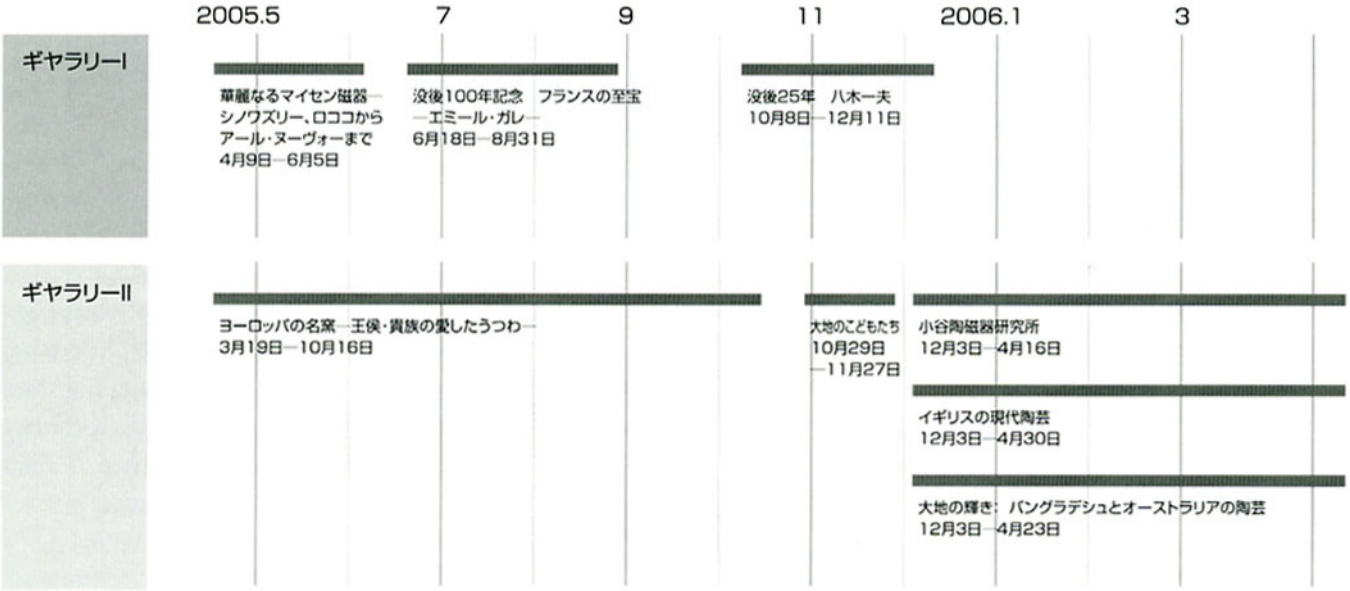
7 月 1 日から 8 月 31 日まで、セラミックパーク MINO 一階の展示ホールで開催される「第 7 回国際陶磁器展美濃」の観覧も、高校生以下は美術館と同じく無料です。今年の夏休みは、美術館で開催される「没後100 年記念エミール・ガレ展」と 3 年に一度開催される「第 7 回国際陶磁器展美濃」を高校生以下は無料で何度でも鑑賞できるわけです。これを夏休みの一研究に利用することも考えられます。

この他に、夏休みには 3 回のワークショップを行いますし、10 月末からは学校現場と協力して、子どもの作品を展示室にならべる、特別展「大地のこどもたち」(10／9～11／27) を開催します。

今後とも、子どもたちを呼び込む事業展開をさらに進めていきたいと考えております。

＜学芸員　岩井利美＞

展覧会スケジュール



ギャラリーⅡ　展示案内
ヨーロッパの名窯－王侯・貴族の愛したうつわ－

展示室A

イギリス・ドイツ

イギリスでは、17 世紀からヨーロッパ大陸と異なる独自のやきもの文化が育まれました。ボーン・チャイナや、ジャスパーウェアは、現在最高級イギリス洋食器として世界で愛用されています。
ドイツは、ヨーロッパで最も早く磁器製造に成功したマイセンを擁し、その優雅で華やかなデザインと、ローゼンタールに代表されるバウハウスの思想を受けたモダンデザインという2側面を見ることができます。

展示室B

アンティーク名窯
－アール・ヌーヴォー、アール・デコの世界

アール・ヌーヴォーやアール・デコ様式の可憐な名品をご覧いただきます。

展示室C

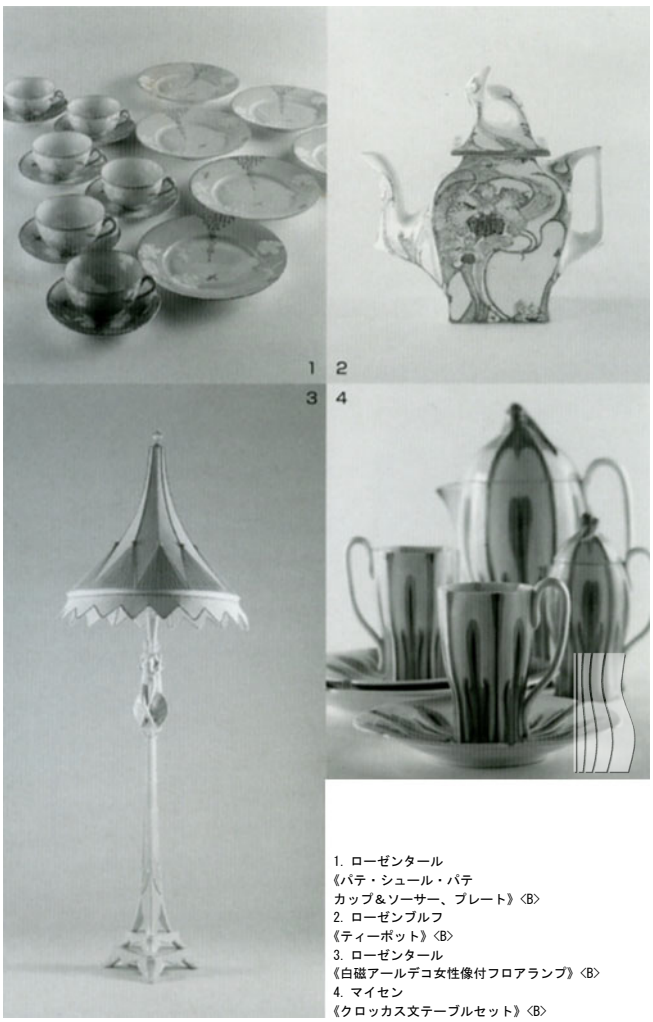
フランス

フランスの磁器といえばセーブルが有名ですが、豊かな鉱脈を持つリモージュの近郊には、ベルナルドやレイノーなど多くの窯が設立されてきました。

展示室D

その他の国

パプスブルグ家のデザインを引き継ぐハンガリーのヘレンド、モダンデザインを提供する北欧のアラビア、明るく楽しい器を作るイタリアのリチャード・ジノリなど、ヨーロッパ磁器の様々な表情をご紹介します。



1. ローゼンタール
《パテ・シュール・パテ
カップ＆ソーサー、プレート》〈B〉
2. ローゼンブルフ
《ティーポット》〈B〉
3. ローゼンタール
《白磁アールデコ女性像付フロアランプ》〈B〉
4. マイセン
《クロッカス文テーブルセット》〈B〉

収蔵品紹介

五代加藤幸兵衛
萌黄金彩水指
15cm(h)×20cm(d)

「加藤幸兵衛陶展」と題する昭和 32 年の展評記事冒頭に「こんどの展観を一瞥したトタンに感じたものは数人の陶匠の集ひという錯覚を起こしたこと。（中略 ）これが一陶房の所産と謂うのであり、而もその何れもが水準を抜き、一流陶匠の域に迫るといふのだから驚異と云ふも過言ではない」とあり、定窯を倣ったとする鉢、宋天目釉の細口瓶、鉄砂釉の大壺、三島手印花の壺などの写真が添えられている（黒田領治、『陶説』No.57）。

個展がおよそ個展には見えないという、この一文にみられるように、五代加藤幸兵衛の陶技の多彩さは誰しもが感嘆を禁じ得なかったようである。実際、幸兵衛がものした陶技は、志野・黄瀬戸・織部などの美濃焼や乾山風などを含む和陶、中国陶磁では青磁・白磁・天目・青華・釉裏紅・呉須赤絵・各種金襴手、朝鮮陶磁では高麗象嵌青磁・三島・刷毛目など「東洋陶磁のほぼ全域」にわたる。

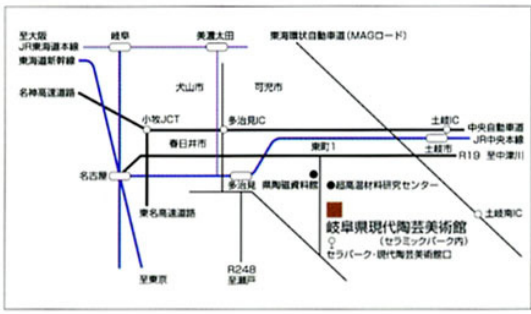
こうした釉技を中心とする、すさまじいほどの陶技探究の意欲の由来するところは何だったのであろうか。そこでは「幸兵衛の歩いた道を振り返って忖度するに、おそらく彼にとっては、個性的な造形の探究よりも、地場産業全体の質的向上を計ることのほうが大事であり、その先達として釉技の拡大・探究があったのではないだろうか」（林屋晴三「幸兵衛翁の業績」）とする指摘は重要である。幸兵衛の足跡では、陶芸家としての業績とともに、美濃陶業界の指導者として果たした役割はいくら強調してもしすぎることはない。

五代加藤幸兵衛の家は、江戸の文化年間創業とされ、安政年間には「江戸城御本丸・西御丸御用御瀬戸焼立所」（『市之倉文書』）を務めていたという名窯であるが、四代幸兵衛のとき、その父によって家業が失敗し早々に父が家長を引退したために、五代幸兵衛（福寿）は 16 才という年端もゆかぬ身で家業を担わねばならなかった。福寿はこの苦境を克服し、大正 10 年、五代幸兵衛を襲名することになる。さらに昭和 25 年、親族会議の結論を盾にしてまで固辞した岐阜県陶磁器試験場長の職に、武藤嘉門岐阜県知事の要請により就任し、その期間も「一、二年のつもりが、到々、二十三年間も続くことになろうとは、神ならぬ身の知る由もなかった」（「幸兵衛随想録」）ということであった。こうして「美濃陶業再興の祖」（加藤唐九郎 ）と評されるほどの活動がなされたのである。家業の長としての、あるいは美濃陶業界の指導者としての重責は、その作家活動に一定の空白期をもたらしているが、作家としての陶技の多彩さは、その重責の自覚と分かち難いところがあるということは、すでに引いた指摘の通りである。ここでなお注目したいことは、その作域の広さとともに、就中青磁（ 例えば朧青磁 ）や金襴手などにみる極めて個性的な達成である。

加藤唐九郎は幸兵衛について「常に制作には人並みはずれた闘魂をのぞかせ、特に金襴手の絵付には抜群の力技を発揮し、風格と精緻な作風で数々の名品を残した」（「幸兵衛氏の足跡」）と記している。この萌黄金彩水指も、そうした作風を示す作例の一つである。蓋付の端正にして豊かな張りのある器形で、萌黄地に金泥彩で精緻な花菱継ぎを施して華麗さを際立たせるとともに、三ヵ所に配された大きな円窓には染付でそれぞれ異なる草花が描かれるが、その運筆は、例えば加藤土師萌のそれに比してものびやかであって、その闊達さにおいて優るとも決して劣るものではない。幸兵衛が好んで手がけたとされる金襴手の優品のひとつである。

＜学芸部長　渡部誠一＞

岐阜県現代陶芸美術館
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu
〒507-0801 岐阜県多治見市東町 4-2-5
tel.0572-28-3100 fax.0572-28-3101
Email museum.1@cpm-gifu.jp
URL http://www.cpm-gifu.jp/museum
開館時間
午前10:00～午後 6:00（入館は午後 5:30まで）



交通案内
新幹線／東京→名古屋　大阪→名古屋
中央線／名古屋→多治見（快速35分）
自家用車ご利用の場合
中央自動車道多治見IC（小牧JCT経由）から約10分
中央自動車道土岐IC（岡谷JCT経由）から約10分
・セラパークバス「セラミックパークMINO」下車
（祝日を除く火～金曜日）
・多治見市コミュニティバス
オリベルート「セラミックパークMINO」下車
（コミュニティバスの運行は、土・日・祝日のみ）
・東鉄バス「瑞浪駅前」行き「妻木」行き
「セラパーク・現代陶芸美術館口」下車徒歩約8分

セラ・パ　vol.5　2005年5月発行　編集・発行：岐阜県現代陶芸美術館 ©2004

データ化：早稲田システム開発株式会社　2012 年